

# 第6次江別市総合計画中間改訂に係る まちづくり意見交換会報告書

平成29年10月

特定非営利活動法人 えべつ協働ねっとわーく

## <目次>

1. 目的.....	1
2. 開催概要.....	1
3. 実施結果	
3.1 子育て世代	
(1) 乳幼児保護者 .....	2
(2) 小学生保護者 .....	6
(3) 中学生保護者 .....	9
3.2 江別市内大学在学の大学生.....	12
3.3 自治会	
(1) 江別地区自治会連絡協議会 .....	19
(2) 野幌地区自治会連絡協議会 .....	22
(3) 大麻地区自治連合会連絡協議会 .....	25

## 1. 目的

第6次江別市総合計画の大きなテーマが、人口減対策（子育て支援・若者定住）であることを踏まえ、人口減対策の対象となる市民から意見を聴取し、庁内検討及び行政審議会での議論の基礎資料とするため意見交換会を実施する。

## 2. 開催概要

江別・野幌・大麻各地区、子育て世代、大学生を対象として、下記日程で意見交換を行った。意見交換は、60～90分で各回3テーマ程度を設定し、その中で自由に意見を頂いた。

回	開催日	会場	主な参加者	人数
第1回	7月18日(火)	野幌公民館	市内大学在学の大学生	8名
第2回	8月8日(火)	大麻公民館	大麻地区自治会連合会連絡協議会役員	6名
第3回	8月10日(木)	野幌公民館	野幌地区自治会連絡協議会役員	12名
第4回	8月22日(火)	野幌公民館	市内在住の乳幼児保護者	8名
第5回	9月5日(火)	コミュニティセンター	江別地区自治会連絡協議会役員	9名
第6回	9月12日(火)	野幌公民館	市内在住の小学生保護者	6名
第7回	9月19日(火)	野幌公民館	市内在住の中学生保護者	7名

### 3. 実施結果

#### 3.1 子育て世代

##### (1) 市内在住の乳幼児保護者

- ・日 時 :平成 29 年 8 月 22 日(火)19:00～20:00
- ・場 所 :野幌公民館
- ・参加者: 8 名(保育園保護者 4 名、幼稚園保護者 4 名)

##### ①江別市での暮らしを選んだ理由

理由としては、大きく仕事、家族、住居の 3 つに分類される。仕事や家族が理由となる人は、やむを得ず、または成り行きで江別に住んでいる場合が多く、一方で住居を理由にする人は、家を建てるときの助成金や土地の安さといった主体的な理由が主となる。

実際に住んでいて感じることとして、札幌市へのアクセスの良さなど、交通面での利便性が多くあげられた。子育て世代としては、学校が選択できることや自然環境の良さも魅力となっているようである。

分類	内容
仕事	・ 夫の職場が江別市内だったため。 ・ 勤務先が江別市に決まったため。
家族	・ 夫の実家が江別市だったため。 ・ 大学や札幌市の高校も近く、子が成長した際の通学もしやすいため。 (進学先の選択肢が広がる)。 ・ 地元が江別市であり、実家も近く暮らしやすいと思ったため。
住居	・ 住宅取得の助成金が出るから(但し、条件に合わず適用されなかった)。 ・ 札幌市より土地が手頃であり、安く家を持てたから。 ・ もともと札幌市に住んでいたが家賃が高かったから。
教育	・ 多くの学校があり、選択できるから。
交通	・ 高速道路へのアクセスが良く、出張等に便利だから。 ・ 札幌市や千歳市にも近いから。 ・ 職場が札幌市であっても JR 通勤しやすいから。 ・ 札幌市に行くのに不便さを感じなかったため。 ・ 実家の札幌市からも 1 時間以内の場所であるため。
環境	・ 自然環境が豊か(緑が多く公園も多い)なため。 ・ 治安が良いため。

## ②江別市の子育て支援施策などについて

遊び場、医療、保育への意見が集中した。遊び場では大きくぽこあぽこに関連した「屋内施設」への意見と、「屋外公園」についての意見に分かれた。ぽこあぽこは評判の良い施設である一方で、幅広い年代が一緒に遊ぶには難があることや、同様の施設が市内にないため、混雑することが課題との意見であった。屋外公園では、水遊び場や、遊具の充実を求める意見が多かった。

医療では、助成の要望が主となった。特に小学生など、年齢が上がるにつれて、医療費が高くなることから、医療費の助成が求められた。保育とも重複するが、病児保育が手薄であるとの意見もあった。

保育料の高さや、園を選択しやすいようにしてほしいとの声も聞こえた。

分類	内容
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おむつの無料収集なども助成があれば良いと思う(ごみの有料化によっておむつにかかるごみ代が増えた)。地方(清水町)に住んでいたときは、おむつの無料収集やおむつ自体の購入費用、医療費の助成が充実していた。</li> <li>・ 札幌市では雑紙やプラごみを無料収集しているため、江別市でも同様に実施してほしい。</li> <li>・ 運転免許を持っていない場合、活動の幅が狭くなる。公共交通を利用する際の交通費の助成があると助かる。</li> </ul>
遊び場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水遊びができる公園がもっとあると良い。</li> <li>・ 公園自体の数が多く、いろいろな公園に行けることは良いことである。</li> <li>・ 公園は多くあるが、遊具等の充実が必要である。住んでいる地域(大麻)の公園では、子どもが長時間遊べるアスレチックのような遊具が少ない。</li> <li>・ ぽこあぽこは施策としては良いが、施設内は狭く、何度も利用していると飽きてしまう。もう少し大きい施設があっても良いと思う。</li> <li>・ ぽこあぽこのような施設が一か所だと少ないため、増やしてほしい。すくすくもあるが、子どもが大きくなり、満足しない。</li> <li>・ 年齢によって遊べるエリアを分けてほしい。 (旭川や、中標津では年齢別に遊べるエリアを分けた施設がある)</li> <li>・ ぽこあぽこの混雑を解消するため、市外の人を有料としてはどうか。</li> <li>・ 冬にスキーが出来る所がないので、公園に雪山を作ってはどうか。</li> <li>・ 冬に遊べる場所が少ないと感じる。</li> <li>・ 冬に行うイベントの規模が小さく、寂しい印象である。</li> </ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療費助成が平成 29 年 8 月から 6 歳まで初診料だけで良いことになったが、喘息等の持病があると 6 歳以降の医療費負担が大変と聞いている。中学生にも助成が拡大すると嬉しい。</li> <li>・ 医療費の助成拡大や交通費の助成があると良い。</li> <li>・ 予防接種への助成があると良い。(兄弟が多いと大変である)。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生以上は医療費が3割負担なのが正直厳しい。無料とまでいかなくとも、1~2割負担となれば助かる。</li> <li>・病児保育が手薄だと感じる。</li> </ul>
保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市直営の保育所を無くさないで欲しい。</li> <li>・保育料がまだまだ高い。</li> <li>・保育園の延長の料金が当初400円だったのに対し、現在は200円になったことはありがたい。</li> <li>・あずかり保育~入園している幼稚園以外も使えると良い。</li> </ul>

### ③子育て世代にとって、さらに暮らしやすいまちにするためには

前問と同様に、医療、遊び場、保育についての意見が多かった。ただし、単に費用的な助成のみではなく、より充実した生活を送るために「情報面」の強化を求める意見もあった。これはつまり、各種支援施策、施設はある程度充実しているが、それを知らないために恩恵を受けることができない、ということである。情報面の強化のために行われている子育て支援アプリも、その存在を知らない人が多いことが分かった。予防接種の情報がスマホで分かるシステムがあれば良いという要望もあった。母親同士の口コミが情報源として重要であることも分かった。

日常生活の充実という面では、子ども服やスポーツ用品など、買い物の質的な不満が聞かれた。

分類	内容
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てのしやすさだけでなく、産みやすさについてもアピールしても良いのではないか。江別市には評判の良い産科があり、札幌市にも通院可能であるため。</li> <li>・予防接種の値段が高く、兄弟が多いとなかなか接種できないため、助成してほしい。</li> <li>・また、予防接種の接種時期を上手く知らせる方法を検討してほしい。</li> <li>・病院の休日当番は、混んでいると診察まで4、5時間かかることもあるので、大人と子供で時間帯を分ける等工夫し、待ち時間を短縮してほしい。</li> <li>・喘息や鼻炎等の持病を抱えている人は定期的に通院する必要があるため、医療費を免除するなどの対策をしてほしい。</li> </ul>
遊び場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぽこあぽこを拡大または増設してほしい。</li> <li>・公園の遊具を充実してほしい。</li> </ul>
保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の情報が分かりにくいいため、リアルタイムで誰でも確認できるよう、工夫してほしい。そういった場報が整理されていれば、まちとしても売りになると思う。</li> <li>・保育園の1歳児枠を拡大してほしい。</li> <li>・子育て情報アプリでの情報をもっと増やしてほしい（そもそもアプリの存在を知らなかった、という方が多い）。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいがあっても、保育を受け入れてくれていることは、ありがたい。</li> </ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の会議が夜間に行われるため、子育て世代としては参加が大変である。</li> <li>・自治会の担い手が少ないが、地域イベント等でやるべきことは多い。</li> <li>・自治会によって、開催するイベントの規模等に差があるため、できるだけ差を無くしてほしい。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別をもう少し分けて、無料ごみを増やしてほしい</li> <li>・大型商業施設がもっと充実すれば良い。結局札幌市に買い物に行ってしまう。</li> <li>・かわいい子供服やスポーツ用品を買えるところがない。</li> <li>・札幌市に近いので住みやすいが、その分、消費が外（特に札幌市）に出てしまっているの、市内で消費できるようにした方が良いのではないか。</li> <li>・ごみステーションの管理や通学路のカラス対策はどうなっているのか。厚別区に住んでいたときと比べるとカラスの多さに驚いている。</li> <li>・ジョイフルエーカーができたのはすごく良い。コストコもできるとより便利になる。</li> <li>・子どもの登下校のこともあり、治安は大事だと思う。安心して暮らすためにも、治安は維持してほしい。</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもでも過ごしやすい、障がい者にやさしいまちづくりを進めてほしい。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のスキー用具の費用負担が大変であるため、助成がほしい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく煉瓦のまちなら、煉瓦で建物を作る場合の助成があると良い。</li> <li>・江別市に遊びに来る人は少ないと思うので、なにか目玉になるユニークな取組があると、若い人も江別に来るのではないか。</li> </ul>



## (2) 市内在住の小学生保護者

- ・日 時:平成 29 年 9 月 12 日(火)10:00～11:30
- ・場 所:野幌公民館
- ・参加者: 6 名

### ①江別市の教育について(学校の雰囲気、教育の質など)

学校全般については特に課題は感じておらず、教育面では学習サポートの充実を評価する意見が出された。問題と感じていることでは、学校行事が多いことへの負担の増加と、行事が減っているための弊害という、相反する意見が聞かれた。このことは、学校における行事のバランスを考える上でも、興味深い内容となった。

また、昨今社会問題ともなりつつある、教師の負担増については、特に PTA で接する機会も多い教頭先生に対する心配の声が多く聞かれた。負担を減らすために地域連携で出来ることはないのかという意見もあった。

また、中学への進学では、交友関係が新しくなることや、少人数学校から大人数の中学へ行くことへの不安など、いわゆる中一ギャップを心配する声もあった。それを無くすためにも、学校間での日頃からの交流が必要との声も聞かれた。

分類	内容
学校について	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の子供の学校は、今のところ問題があるとは思っていない。</li><li>・不満はないが、満足でもない。</li><li>・特認校であるために、保護者が参加する行事が多いが、行事が多いと負担が大きくなることもある。</li><li>・行事が減ると、保護者間が顔を合わせる機会も減るので、転校生の親が輪に入りにくく、親同士の顔が分からなくなる。</li><li>・参観日ではなくても、学校に連絡をしたら見学をさせてくれるので、ある程度学校での様子は分かる。</li><li>・少人数学校ということもあり、先生が子ども一人一人をよく見てくれて、サポートしてくれている。校長先生の判断で全学年に対して学力テストを実施してくれた。</li><li>・学力を上げることも大切だと思うが、行事など子どもの楽しみが減っていると感じる。</li></ul>
教育について	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習サポートを充実させてほしい。</li><li>・国語、算数は各学年で検定があり、子ども達の学習の励みになっている。</li><li>・夏休みと冬休みの最初の 3 日間、学年別に算数特訓コース等の学習サポートがあり、助かっている。</li></ul>
教師の負担	<ul style="list-style-type: none"><li>・ニュースにもなっているよう、教頭先生を中心とした教師一人一人の負担が大きく心配である。</li><li>・PTA や役員にも教師の仕事がある程度振り分けるなど、教師の負担</li></ul>



	<p>を減らす工夫が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労による教師のミスも多くあり、混乱が起きており、PTA からの不満も出ている。</li> </ul>
進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特認校の場合、生徒一人ひとりに目が行き届き、生徒もずっと同じ友達と一緒にという良さはあるが、中学進学時の生徒数の多さに戸惑うのではないか。</li> <li>・小学校同士での交流授業等があれば多少解消できると思う。</li> </ul>

## ②江別市の子育て支援施策について

ぽこあぽこの話題を発端とした、子どもの遊び場についての意見交換が大半を占めることとなった。単に子供が遊べる場、という意味を超えて、親子が楽しめたり、子どもが遊んでいる間に親同士の交流が生まれたりなど、子育て家庭にとって、遊び場の充実が日常の生活の質を大きく左右することが伺えた。

医療では、子どもの救急医療体制やアレルギー対応への不満が多く聞かれた。

分類	内容
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぽこあぽこ内にトイレが無いことや、小学校3年生以上は入れても一緒に遊べない等、利用する上での制約が多いので、利用しなくなってしまう。</li> <li>・ぽこあぽこは、大きい子と小さい子が一緒に遊ぶのに構造上適していない。年齢で分かれて遊べるスペースがあると怪我の心配もなく、親としては嬉しい。</li> <li>・札幌市の川下公園や岩見沢駅前にある子育て広場のよう、広くて親子で楽しめる複合的な施設がほしい。</li> <li>・子どもが遊んでいる間、母親同士も交流できるスペースがある屋内施設がほしい。</li> <li>・子どもが2歳ぐらいになると、「すくすく」も利用しなくなる。</li> <li>・子どもが一人でただ思いきり走れて遊べるスペースも必要だと思う。</li> </ul>
支援施策のPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援や助成があるにもかかわらず、知らない人が多い。広報紙や新聞を見ない親も多いので、スーパーなどでポスター等を用いて啓発してはどうか。親同士の口コミで知ることが多い。</li> </ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対応が不十分であり、病院での受け入れ拒否や、学校給食の対応が出来ない等がある。</li> </ul>

### ③子育て世代にとってさらに暮らしやすいまちにするには

支援施策はあるものの、それを知らなかったという声が多く聞かれた。他の子育て世代の意見交換でも同様であったが、子育てアプリの存在を知らない実態も明らかとなった。では、どうすれば知ることができるのかという議論では、広報紙やフリーペーパーを求める声が聞かれた。

分類	内容
支援サービス PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中は市からもらった冊子を見る余裕もなく、すくすくも利用が必要な時期が過ぎてから知った。</li> <li>・子育て中の母親が息抜きできるような、保育園の一時預かり等をPRしてはどうか。</li> <li>・子育て支援サービスを分かりやすく周知して欲しい。</li> <li>・ファミリーサポートも助かるが、もっと使いやすいと良い。保育園は託児の利用時間が決まっているが、札幌市では24時間預かってもらえるところがあり助かった。</li> <li>・子育て世代だけを対象としたフリーペーパーがあると良い。</li> <li>・子育て中に息抜きができなく、大変だと感じてしまうので、一人っ子でいいと考えてしまう。</li> </ul>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や民生委員を巻き込んで、地域間での子育てのサポートができれば良い。</li> </ul>
助成	○小学生の医療費助成があれば良い。
公園	○水はけが悪い公園があるため、整備してほしい。



### (3) 市内在住の中学生保護者

- ・日 時:平成 29 年 9 月 19 日(火)13:30～15:00
- ・場 所:野幌公民館
- ・参加者: 7 名

#### ①江別市の教育について

中学校に特化した話題として、部活動に関することが大半を占めることとなった。それだけに、中学校では部活動が重要であり、部活動の充実が中学校生活や家庭生活の充実にもつながることが分かった。近年、部活動を取りまく環境の厳しさもあり、サッカー一部や陸上部といった体育会系の部活ですら存続できない学校もあることが分かった。また、生徒数は充分にしながら、指導者の不在による廃部という実態もあり、教員への負担も深刻化していることが改めて浮き彫りになった。

部活動以外の切り口では、教育面のサポートが充実していることや、地域連携による見守り隊の存在など、子どもを育むための体制が機能していることが分かった。

赤ちゃん登校や企業インターンシップといった優れた独自の取組がある一方で、こうした取組が行われない学校もあり、全市的な動きを期待する声も聞かれた。

分類	内容
部活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒数の減少により陸上部やサッカー一部がない学校もあるなど、部活動の選択肢が少なくなっている。</li><li>・子どもたちがやりたい部活動があったとしても、指導者不在で活動できない場合がある。</li><li>・指導者はいるが、部員が少なく部活動として活動できない場合もある。</li><li>・三中はマンドリン部があったり、剣道部が強かったりするが、一つの学校で全ての部活を揃えるのではなく、この学校はこの部活が強い、という特色を出すのも面白いかもしれない。</li><li>・子どもたちのやりたい部活動をやらせてあげたいし、学校にもそういう姿勢であってほしい。</li><li>・教師だけでは限界があるので、外部指導員の導入などを検討してはどうか。</li><li>・部活動の顧問や外部指導員に別途、手当を付ける等、人材確保の工夫が必要である。</li><li>・子どもたちの身体的、精神的に健全な育成のためにも部活動は重要。</li><li>・部活動の実施が子どもにとって大きなウエイトを占めているため、学校ごとの部活動の状況等を PR すれば、市外からの転入者が増えるのではないか。</li></ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人別の補習などの学習サポートをしてくれていて助かっている。三中では玄関に棚があり、家庭学習用のプリントが置いてある。</li><li>・学校毎の学力にレベルの差があることを気にしている子がいる。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の自治体では外部の講師を招いて、土曜日に講習会を行っているので、江別市でも取り組んでほしい。</li> </ul>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールの活動を活性化してほしい。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がきちんと生徒を見ていて、連携もとれているため、いじめも起きておらず、助かっている。</li> <li>・生徒の活躍を学校からのお便りに記載してくれたら生徒のモチベーション向上にもつながると思う。</li> </ul>
制度・情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校選択」の制度は魅力的だが、全校区どこからでも入れる訳ではないので、入れるようにしてはどうか。学校を選択できる制度をもっと活発化してほしい。</li> <li>・二中で行っている赤ちゃん登校を全市的に取り組んで欲しい。赤ちゃんが中学校に行くことで、保護者もその学校に自分の子が入学するイメージを作ることができる。</li> <li>・職業体験について、学校毎の取組の差が大きいように感じる。</li> </ul>

## ②江別市の子育て支援施策など

ここでは、金銭的な助成の議論に尽きることとなった。

その理由として、中学生に特化した支援がこれとってないこと、身体が急に大きくなることで家庭にかかる金銭的な負担も急増することがあげられる。

子育て支援というと、幼児または小学生がイメージされがちである。中学生にも同様の支援が求められているにも関わらず、支援施策の内容からは、そこが抜け落ちているとの声も聞こえた。

身体が小さいうちは食べる量も衣服もさほどお金がかからず、実は中学生になってからの方が子育てにお金がかかるとの指摘は、各段階における子育て費用の把握の必要性を感じさせる意見であった。

分類	内容
支援施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児対象の支援も重要だが、中学生に特化した支援も必要である。</li> <li>・中学生では成長期を迎え、身体が急に大きくなるので、それにより衣服や食費、部活動や高校進学に向けた塾への通学にも出費が嵩む。子どもが小さい時は、親の手はかかるが金銭的にはそれほどかからなかったと感じる。</li> <li>・3年の間に制服を買い替えることもあるため、助成があると良い。</li> <li>・部活動等で怪我をすることも多いが、中学生は医療費の助成も無く不満である。</li> </ul>

### ③子育て世代にとって、さらに暮らしやすいまちにするためには

子どもへのメンタルサポートの充実が出されたのは、思春期ならではの特色と言える。現在はスクールカウンセラーが常勤ではなく、複数の学校を受け持っているため、生徒との信頼関係の構築が難しいとの指摘があった。親としては、家庭以外でも精神的なサポートを受けられることを求めていることが分かった。

ここでも、部活動についての意見が出されたが、部活動に所属することによって、親が安心していただけるという側面も見られた。

交通の便が進学の選択肢に影響するという意見もあり、部活動の充実も含め、子どもの将来の可能性を広げるためには、様々な方面での「選択」の自由を保障できることが重要であることが分かった。学校や部活動などの選択が自由に出来るようになれば、「子どもの将来を広げられるまち」という特色をつくれることも意味している。

災害時の対応が学校ごとに異なることは、今までの意見交換会では無かった指摘である。他の学校では臨時休校になるような荒天時でも部活動は行っているなど、各校の裁量ではなく、全市的に基準を設けて対応することで家庭も安心できるとの声も聞こえた。

分類	内容
部活動 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活をしていない場合、帰宅後の生活に対しての風紀が心配である。部活動に入っていると大体の帰宅時間も分かるので親としては働きやすい。</li> <li>・冬期間でも部活動の練習ができる室内場がほしい。</li> <li>・全道大会出場時の助成がほしい。</li> </ul>
メンタル サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーは、複数の中学校を掛け持ちで勤務しているため、子どもとの関わりが浅くなっていると思う。</li> <li>・スクールカウンセラーを各校に常時配置してほしい。</li> <li>・不登校に対するケアにもつながると思う。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の高校に通いやすいバスの路線にしてほしい。冬は自転車で通学できないため、交通の便は進学先の選択肢にも影響する。</li> </ul>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時やJアラートが鳴った際の対応を一律化してほしい。休校の有無等、学校により差があるように感じる。</li> <li>・防災に対してのマニュアルが不足している（避難所運営等）。</li> </ul>



### 3.2 江別市内大学在学の大学生

- ・日 時:平成 29 年 7 月 18 日(火)18:00～20:00
- ・場 所:野幌公民館
- ・参加者: 8 名

#### (1)参加者の属性

意見交換会に参加した大学生は、江別市を含め、道内、道外と幅広い地域の出身者であり、市内 4 大学を網羅した生徒である。

大学を選んだ理由では、希望の学部がある場合と、やむを得ない理由がある場合、また兄弟が同じ大学に入学したから、など様々な理由があった。酪農学園大学は全国的にも珍しい学部があることから、目的を明確にした道外出身者の生徒が多いが、今回参加の 2 名も道外出身者である。

#### (2)江別市への愛着度について

今現在の、江別市に対する愛着度について 10 段階で評価をしてもらった。同時に、大学関係者以外で、江別市に知り合いがいるかどうかも回答してもらった。愛着度が低い学生は、知り合い数が 0 で、愛着度が高い学生は 10 名以上の知り合いがいることが分かった。

つまり、在学中に地域の方と密度の濃い触れ合いの機会を作ることによって、学生の地域への愛着を醸成することができることと考えられる。

江別市で学ぶ学生たちが、愛着をもって卒業できるかどうかは、江別市で就職をしたり、卒業した後も何らかの形で江別市に関わったりするきっかけとなるため、このような触れ合いの機会をいかに創出するかが、若者の定着に重要という意見が多かった。

江別市への愛着度	市内の知り合い数
8 点	数十人
7 点	20 人程度
7 点	事業の知り合い以外 0 人
6 点	20～30 人
6 点	10 人以上
3 点	0 人
3 点	0 人
3 点	0 人

### (3)地域活動への参加経験について

地域活動への参加経験を、江別市内、江別市外双方について確認した。

江別市内での地域活動では、大学の授業関連や、江別市の事業による参加がほとんどであった。若干名地元にいるときから地域活動に参加している学生もいたが、多くは大学に入ってから様々な活動に参加していた。今まで地域活動に参加していなかったが、こちらで様々な活動に参加してみて、その楽しさに目覚める学生もいた。

江別市外の活動では、江別市で進める学生地域定着推進広域連携事業による参加が多かった。また、大学のサークルやゼミ活動での参加もみられた。一つの切り口として、こうしたきっかけがあることで、大学生の地域活動への参加を促せるという意見があった。

地域	活動内容
江別市内	江別自治会（しらかば自治会）～ゼミ活動の一環
	自治防災訓練（段ボールハウスづくり）
	柔道大会の手伝い
	ブックストリート(イベント)
	ボランティア
	自主イベントの企画・実施
	江別市自治基本条例
江別市外	地元ボランティア（高校の時にボランティア局に所属） 福祉施設、地元のお祭り、AED 講習のお手伝いなど
	赤平市の火祭りへのボランティア
	クリレンジャー
	栗山町 イベントボランティアスタッフ
	地元で高校野球のボランティア
	ごみ拾い活動（帯広市）
	トラクター番場（地元のサークル関連でのお手伝い）
	更別まつりでのボランティア
	自治体ボランティア（函館市） みなと祭りなどでの神輿かつぎ
	よさこいで各地域祭り

#### (4)江別市の良いところと、不十分ところ

江別市の良いところでは、札幌市に近いこと、江別市の土地柄、自然の豊かさ、賃貸住宅が安い、などの意見が出された。いずれも都会過ぎず、田舎すぎない規模間で、そのために両方の魅力を兼ね備えていることからきているものと思われる。

一方で、江別市の不十分なところとしては、飲食店や書店、洋服屋などの店舗が少ない、大きなスーパーないことをあげる学生が多かった。文京台は学生街ということもあり、うるさく汚いということを不満に思う学生も複数いた。交通の便の悪さは、共通して感じていることであった。高齢者と同様に、自動車を持たない学生が多いことも影響していると考えられる。

良いところ	札幌市と適度な距離感にあり、札幌市ほど混雑していない。
	親しく話しかけてくれる人がいるなど、地域住民の人柄が良い。
	江別市の人が様々な活動に積極的という印象を受ける。
	色々と勉強になる人と出会える。
	自然が豊か（情報大学の周りなど）であり、カブトムシも捕れる。
	札幌市と比較するとアパートが安い。
	畑が近くで見られる。
	通学途中や散歩中など、騒いでいる人がおらず静かである。
	学生が多く、賑やかである。
不十分	うるさく、夜中に叫び声が聞こえることもある。
	タバコのポイ捨てがあり、汚い。
	飲食店やコンビニが少ない。すき屋等のファストフード店がほしい。
	服屋など気軽に歩く場所が市内にないため、札幌市に行ってしまう。
	札幌市の紀伊國屋書店のような専門的な本屋がない。
	近所のスーパーの品揃えや設備が古い。文京台側には小さな商店しかない。
	部活動で怪我をすることがあるが、病院が少ないため、患者が集中し診察まで長時間待たされる。
	文京台地区は臭いが気になる。
	交通の便が悪く、大学も駅から遠い。 自宅の周りにもバス停がなく、自動車を持たない学生としては、自転車に乗れない冬期間の行動範囲が狭くなる。



## (5)就職観

### ①就職先を選ぶときに重視すること

下記の方法により、質問をした。

- ①まず、思い付くままに条件を出す
- ②出された条件を分類ごとに整理する
- ③各自上位3つを選ぶ

1位3点、 2位2点 3位 1点 で重み付けをする

集計結果は下表のとおりである。給料と並び、職員や職場の人間関係を重視する傾向が明らかとなった。仕事の内容では、企業の実績も重視されるが、自分自身がそこでどのようなキャリアを積めるかにも、興味がある学生もいた。

これら職場や仕事に直結することとは別の切り口として、地元で働くことを重視する声も聞こえた。親族(特に両親)との関係性や、災害の影響で地元貢献したい、地元には知り合いが多く安心する等、地元志向の学生でも理由は様々であった。

市内の大学生に江別市で就職してもらいたい場合は、給料面のみならず、職場の雰囲気や、職場でどのような経験を積めるのかといった「安心」と「メリット」を魅力的に提示できれば、その可能性は充分にあると考えられる。

重要度	分類
11	給料について
10	従業員の人柄について
8	業務内容について
7	地元かどうか
6	休暇について
3	地域に密着している仕事か
1	自分に合っているか仕事か
1	いわゆるブラック企業なのかホワイト企業なのか
1	自身の将来に生きるか
0	企業ブランド
0	通勤のしやすさ
0	職場の雰囲気

## ②江別市の企業に就職は考えられるか

江別市の企業への就職は考えられるかどうかを質問した。具体的な企業が分からず、そもそも地元志向の強い学生には、考えづらい想定であったが、そうした事情を無いものとして、今時点で江別市での就職の可能性はあるのか、という前提で考えてもらった。

可能性有りとは回答した学生は、江別市は住みやすいため働いても良いという学生と、自分が正当に評価されるのであれば就業場所は関係ないという学生がいた。

一方で市内就職は考えられないと回答した学生では、やはり地元とのつながりを捨てきれない「地元愛」パターンと、地元は知り合いも多く住みやすいという「安心感」のパターンに大きく分かれた。市内在住の学生は、江別市は住みやすいが、一度は地元を離れたいという意見であった。

学生にとっては、どんな企業があるかということよりも、住み心地や家族を判断理由として、就業場所を考えている学生が多かった。江別市での就職を考えてもらうためには、在学中に江別市が住みやすいまちであると感じる必要性があるとの意見が多かった。

回答	理由
Yes	地方と比較すると、生活しやすいため。
	森林公園が良い。こういう公園が近くにあるところに住みたいから。
	自分を評価してくれる等、条件が合えば就業場所は問わない。
No	江別市に知り合いが少ないため。
	江別市も良いまちだと思うが、地元のために働きたいから。
	一人っ子であり、両親と離れることに不安があるので。
	地元が住みやすいと感じるから。
	本州が地元であり、地元と比較すると雪も降り寒いため。
江別市出身であり、住み心地は良いと思うが、一度は地元を離れたい気持ちがある。	

## (6)定住観

住む場所を選ぶときに重視することを、就職観と同様の方法で質問した。集計結果は下表のとおりとなった。

遊ぶ場所の充実を重視する学生は少なく、交通、環境、治安をもとめる声が多かった。中でも、病院に通えることを含めた公共交通機関の充実など、ライフラインが整っていることが一番のポイントとなっていた。また、環境や治安の良さを重視する傾向もあり、自身が定住することを想定した場合には、日常生活を安心して過ごせるかどうかに関心を置くことが分かった。

なお、今時点で江別市が条件を満たしているかどうかを質問したが、自然環境や治安は良いという意見が聞かれた一方、文京台地区は学生街ということもあり、住環境としては良くはないとの意見があった。

就職と同様の結論にはなるが、在学中に江別市というまちが安心して日常を過ごせるまちだと感じられる必要がある。単身生活をしている学生においては、その地域だけではなく、様々な地域での江別市の日常を見せることも重要ではないかとの声も聞こえた。江別市で暮らしている人と接することで、自身の江別市での暮らしをイメージできるようになれば、定住につながることも考えられる。

重要度	意見	
14	交通	<ul style="list-style-type: none"><li>・通院に便利かどうか。</li><li>・ライフラインがある程度整っているかどうか。</li><li>・市内への交通網、市外へのアクセスが整っているか。</li></ul>
11	環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・静かで自然に恵まれているかどうか。</li></ul>
9	治安	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体の活動が盛んで賑わいがあるかどうか。</li><li>・まちの活気があるかどうか。</li></ul>
5	市の制度が充実している	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援や困窮者への支援が整っているかどうか。</li></ul>
4	土地の値段	<ul style="list-style-type: none"><li>・家を建てる際の助成等があるかどうか。</li></ul>
2	店舗	<ul style="list-style-type: none"><li>・飲食店が多くあるかどうか。</li><li>・市内で買い物が完結できるかどうか。</li></ul>
1	都会との距離感	
1	就業	
1	人柄	
0	子育て環境	

## (7)江別への愛着度の醸成について

最後に学生一人一人が考える、江別市への愛着度の向上方法について質問した。

学生の江別市への定住を考えた場合に、在学中に「交流」と「知る」機会を得られるかどうか、極めて重要な位置を占めると考えられる。これは、「愛着」は実際にどのようなまちなのかという中身よりも、まちと自分自身との精神的、知識的な距離感が影響することが分かった。その点では、江別市はほかの魅力的なまちと対等な立場であるとも言える。江別市で4年間学ぶということは、他の地域に比べて大きく優位であり、その期間にいか「自分のまち」になるかどうか重要になると考えられる。

参加者	回答
A	何か印象深いことがあれば良い。
	助けられたと感じたら感謝の気持ちが芽生え、思い入れが強くなると思う。
	このような機会がもっとあって、知ることができれば愛着も湧くかもしれない。
B	住む時間が長ければより地域のことを知れ、愛着が湧く可能性もあると思う。
C	市内他大学の学生や地域活動をしている人と関わる機会が増えれば良い。
	ごみのポイ捨ての問題が解決され、まちがきれいになれば良い。
D	地域住民との関わりが濃くなり、江別市が第2のふるさとと思えるようになれば良い。
E	札幌市のように飲食店が増え、活気のあるまちになれば良い。
	交通面が強化され、便利になれば良い。
F	大学や部活動以外で学生が集まりやすい場所があれば良い。そうすれば、卒業後も江別市に来るきっかけとなるのではないか。
	花火などの夏のイベントがあれば良いのではないか。
G	まず江別市がどのようなまちなのかを知ることが大事だと思う。
H	みんなが集まりやすく、そこに行けば誰か知人に会えるような、中心となる場所があれば良い。



### 3.3 自治会

#### (1) 江別地区自治会連絡協議会

- ・日 時:平成 29 年 9 月 5 日(火)18:00～20:00
- ・場 所:江別コミュニティセンター
- ・参加者:9 名

#### ①江別市全体や江別地区について思うこと

所属する地区毎にその特色を述べられたのが印象的だった。そのため、江別地区と一口に言っても、現状は様々であることがよく理解できた。

当設問では、概ね生活や環境面での評価は高く、また地区によっては新しい世帯の流入も安定していることが分かった。一方で、自治会活動では地域コミュニティの希薄化、若い世代の自治会参加に対する難しさや、公共交通手段の改善を求める声が聞かれた。

交通手段では、他の意見交換会では循環バスを求める意見が多かったが、過去に上手くいかなかった経緯があることから、新たな交通手段を模索すべきとの意見があった。

分類	内容
生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 鉄道の防風林の影響によるカラスの糞害を解消してほしい。</li><li>・ 住環境にはそれほど困っていない。</li></ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然が多く、生活しやすいと感じている。</li><li>・ 公園が1か所しかない。</li></ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新たな交通手段、移動手段を考えてほしい(デマンドバスなど)。現在はJRしか手段がなく、不便に感じている。</li><li>・ 高砂駅に迎えにくる人の路上駐車が多く危険である。早く駐車場を作ってほしい。</li></ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ イベントなどで他自治会との交流の機会をもち、近隣の人との付き合いが活性化することが大事である。</li><li>・ イベントなどを通じて若い世代の自治会参加を検討してはどうか。</li><li>・ 現状では自治会活動の停滞、崩壊が進みつつある。</li></ul>
世代構成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自治会の約4割が独居世帯となっており、毎年独居世帯の数は増加している。若い世代の転入策を検討する必要がある。</li><li>・ 世帯数に増減はほとんどなく、空き地や空き家があれば、すぐに買い手が見つかっている。</li><li>・ アパートが増え、地域コミュニティが減っている。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者が多い地区であり、今後の活性化は望めないのに、無理やり活性化は考えなくても良いのではないか。</li></ul>

## ②日常生活で抱える課題

自治会に関する話題が中心であり、その中でも担い手不足が深刻であることの見解が多かった。個人情報保護法の関連で、自治会活動が行いづらくなったことも指摘された。今後の人口動態を予測し、事前の対応策を考えておくことが改善策として出された。

介護予防や健康維持の観点から、パークゴルフ場の充実を求める意見があり、そのためにも遊休資源(旧町村農場や上江別幼稚園横など)を活用してはどうかという声が聞かれた。

分類	内容
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会で行っている集団資源回収の奨励金を利用して、自治会排雪を行っており、生活に役立っている。</li> <li>・除排雪を通して地域の交流を図ることもできる。</li> <li>・高砂の地下歩道での自転車の通行が危ない。高校生が全力で走って行き、ひかれそうになるケースがある。</li> </ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会役員の担い手が不足しており、同じ人が長年やっている。</li> <li>・役員の高齢化により自治会回覧などの全戸配付も体力的に厳しい状況である。重要であることは理解しているため、適正な回覧回数を検討してほしい。</li> <li>・自治会の区分けの仕方も考えないと、高齢者ばかりの自治会できてしまう。</li> <li>・愛のふれあい事業など、子どもが参加する事業をして、その親を自治会活動に巻き込んでいく必要がある。とにかく若い人に参加してほしいので、取り込むための方法を考えていかななくてはならない。</li> <li>・隣人との付き合いが減っているなかで、自治会活動を行うには工夫が必要である。</li> </ul>
健康福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の取組に力を入れてほしい。</li> <li>・パークゴルフ場が近くにあると、介護予防や健康維持に役立つ。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・王子製紙の林や旧町村農場などの遊休地の活用を検討してほしい。</li> </ul>

## ③さらに住みよいまちにするためには

医療体制の充実や体育施設の新設などの要望があった。救急対応が不十分であるとの意見に対しては、一つの病院で全てをまかなうのではなく、個人病院と役割を連携して、そのこと自体を市民に理解してもらうことが重要と、参加者同士での意見交換があった。

その一方で、地域コミュニティの充実への居場所づくりのアイデアや、未来づくりビジョンの共有を求める声、それから人口増加に向けた施策について等、一緒にこのまちをよくしていきたい、という熱意が感じられた。

協働に向けた心構えは準備できているようなので、こうした住民側の意欲を引き出せる仕掛けをつくることができれば、地域の自助体制がより充実していくものと考えられる。

分類	内容
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院の役割について、さらに市民に理解してもらうPRが必要ではないか。</li> <li>・体育館や体育施設が欲しい。徒歩圏内にそのような施設があれば、健康寿命を延ばす上でも役に立つ。</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会館がない自治会もあるため、住民が集う場所が必要である。</li> <li>・公園や空き家の活用も検討してほしい。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の治安を維持するためにも、交番が必要である。</li> <li>・治安の維持については、自治会と市で協力して考える必要がある。</li> <li>・江別市の特産物を知ってもらうためにも、道の駅を作り、PRしてはどうか。それが人口増にもつながるのではないか。</li> </ul>
ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別市として、今後のまちづくりの構想をどうするつもりなのか。どこを拠点にして進めていくのか等、具体的な構想が分からない。</li> <li>・江別、野幌、大麻の地区単位で必要な施設をつくるのか、市全体を見ながら整備していくのか、施設ごとの必要性和ビジョンが見えない。</li> </ul>
人口対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古くからある町に住み替えがおこる政策が必要ではないか。</li> <li>・市の優位性（地価や札幌市へのアクセス）をPRして、人口増につなげてほしい。</li> <li>・平成28年は社会増になっているということだが、地域ごとの世帯増減数を算出すべきである。土地の造成により人口増を考えるのではなく、既に基盤の整っている古い地区の再生による人口増対策を考えてほしい。</li> </ul>



## (2) 野幌地区自治会連絡協議会

- ・日 時:平成 29 年 8 月 10 日(木)13:30～15:00
- ・場 所:野幌公民館
- ・参加者:12 名

### ①江別市全体や野幌地区について思うこと

生活に関することから医療、交通、まちづくりまで、幅広く意見が出された。公共交通機関の弱さは他の意見交換でも指摘されてきたが、広い目で見ると近隣地域へのアクセスは良いという地理的な優位性についても触れられた。

野幌地区は大型商業施設あり、実際に買い物には困らないという意見が多かったが、野幌若葉町など、地域によっては買い物に困っているところもあることが分かった。これは公共交通機関の弱さとも直結する課題である。

医療については、江別市内の病院では設備や人材的な不安があり、札幌方面に通院してしまいうため、医療への不満を与えない施策を検討することが重要との意見もあった。

分類	内容
生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・大型のスーパーが多くあり、買い物には困らない。ただし、地区によっては行きづらくさを感じてしまう。</li><li>・閑静で住みやすいまちだと思う。</li><li>・野幌鉄南地区センターの場所が分かりづらく、行きにくい。</li><li>・野幌公民館等にフリーWIFI スポットを整備してほしい。</li><li>・野幌地区は、札幌市の地方より住みやすいのではないか。</li></ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・明確な理由は不明であるが、札幌方面の病院に通院する人が多い。</li><li>・特にがんの治療については、札幌市の病院に通院する人が多い。</li><li>・市立病院に通院することが市の財政を考えると良いと思うが、医師に対する信頼性が薄いと思う。また、設備の充実度に不安がある。</li></ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の運転に不安があるため、駅と市立病院をつなぐ循環バス等の交通システムが必要ではないか。</li><li>・あわせて野幌駅までの送迎バスなど、身近に使えるバスを検討してほしい。</li><li>・マイクロバス(コミュニティバス)を走らせることも、高齢者に対する配慮として必要ではないか。</li><li>・市内には2つの高速ICがあり、近隣自治体とのアクセスが良いため、そのことをPRすると、転入者が増えるのではないか。</li></ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境が良いと思う。</li></ul>
特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・江別市の特産品や農産物を買えるところが分かりづらいため、販売方法を検討してはどうか。</li><li>・大学を活用したまちづくりを進めてほしい。</li></ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"><li>・野幌地区は転入者が多いが、その分地域の活動に関心度が低いように感じられる。</li><li>・自治会の活動規模に差がある。</li></ul>



産業	・札幌市に近いために、宿泊施設や商業施設が少ない。
福祉	・高齢者と農家の作業を連携して、高齢者の働き場所を作れないか。高齢者の居場所にもなると思う。
子育て	・高齢者向けの施設は整っていると思うが、子育て世代を対象とした施設が少ないと感じる。
その他	・江別、野幌、大麻の3地区に分かれていて、市としての一体感がないように感じられる。

## ②日常生活での課題・困りごと

子育て世代と高齢者に関連する課題が多く見られた。これと関連して、世代毎の地域に対する満足度調査を始めてはどうかという意見も出された。

日常生活の課題では、ごみの処理についての話題が最も多く聞かれた。環境クリーンセンターの存在を知らない人も見受けられ、参加者同士で同施設の利用方法について意見交換をする場面もあった。ごみの減量のため、雑紙の収集があると良いのでは、という意見に対しても賛同が多かった。

将来的な地域介護に対する不安があるとの声も聞こえた。

分類	内容
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画として緑化することは良いと思うが、整備後の雑草問題等、事後のメンテナンスのことも考え、事業を行ってほしい。</li> <li>・湯川公園や野幌運動公園等、大規模な公園があるという魅力をPRしてはどうか。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ごみの処理方法を分かりやすくしてほしい。</li> <li>・農道や用水路等にごみの不法投棄が多い。</li> <li>・集団資源回収とは別に、雑紙を収集してほしい。</li> <li>・環境クリーンセンターへのごみの持ち込みは処理費用が安く、便利であるため、PRが必要である。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関では市立病院への通院が不便である。</li> <li>・有料でも良いのでコミュニティバスが必要である。</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の託児所が必要である。若い世代は共働きが多いので、託児制度が充実すると若い世代が喜ぶのではないか。</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がいかに健康に過ごせるのか、そのために外に出て活動できるような取組を考えてほしい。</li> <li>・高齢者クラブが減少している一方で、生涯学習プログラムなどは増えている。</li> <li>・介護保険制度が変わる中で、地域介護を地域で担えるのかという不安がある。要支援者に対する対策を考えなくてはならない。</li> <li>・子育て世代の居場所が必要だと思う。市にとって、子育て世代は重要な世代だと思うので、手厚く支援する必要があるのではないか。</li> </ul>

自治会	・自己解決できない大人が増えている印象であり、近隣の除排雪時のトラブルも自治会に対応を求められる。
その他	・生活に対する年代別の満足度を調査してほしい。世代毎に何に満足しているのか、不満なのかを把握してほしい。

### ③さらに住みよいまちにするためには

ここでの意見は、自治会と交流人口の増加に関するものが多かった。特に自治会については、役員の担い手不足が深刻であり、輪番制を取るなど、各自治会で工夫しながら運営していることが伺えた。

交流人口を増やし、そこから定住人口を増やすことについては、札幌市に近いという優位性を生かしてほしいとの意見であった。また、目の前の課題への対処は勿論だが、各地区の将来像を考えて、そこから戦略を立てていくことも重要との意見もあった。

地域コミュニティの中核となる自治会の運営が厳しいことは理解できるが、その解決を各自治会の力だけに頼ると、自治会格差が顕著になってしまう。行政を含む関係機関が連携し、全ての自治会で取り組めることを検討していくことが重要との意見が聞かれた。

分類	内容
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の一員として、自分の住む地域をより良くしようとする意識がほしい。小さなことだが、自治会の花壇整理等は地域住民全体で取り組みたい。</li> <li>・自治会役員の担い手が不足している。</li> <li>・女性の意見交換会を平成 28 年から行っているが、その中で女性の自治会役員が少ないという意見が出る。</li> <li>・市民一人一人が地域を支えていくという協働の精神が大事である。</li> </ul>
定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した対策を検討してほしい。</li> <li>・江別西 IC の付近に企業を誘致すると将来的に大きな経済効果が見込めるのではないかと。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪に苦勞して、市内の一戸建てから札幌市のマンションに転居する人も多いのではないかと。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の将来像を考えた事業を実施してほしい。</li> <li>・宿泊施設が必要である。</li> </ul>



### (3) 大麻地区自治連合会連絡協議会

- ・日 時:平成 29 年 8 月 8 日(火)18:00～19:30
- ・場 所:大麻公民館
- ・参加者:6 名

#### ①江別市全体や大麻地区について思うこと

環境や人口構成、産業など、幅広い視点での意見があった。環境面では、肯定的な意見が多く、大麻地区が自然環境に恵まれていることが大きな特徴であることが分かった。その一方で、中央公園の素晴らしいロケーションが、生かされておらず、整備を急いでほしいという意見も聞かれた。既存の環境資源を最大限に生かすことで、他の地域、地区に比べても環境面での充実がさらに図られるとの意見が出された。

人口構成としては、大麻は江別市の中でも高齢化率の高い地域であるが、最近空き家も減り、若い世代の増加を感覚的に感じているという意見が多かった。宅地造成の一過性のもつと見る意見や、子どもの世代が江別市に戻ってきているという二つの傾向があるようだ。江別市全体としては、特色のある産業がないことや、大学の利点が生かされておらず、さらに大麻地区住環境の良さをさらに PR して交流人口を増やすべき、との意見も聞かれた。全体的に肯定的な意見が多く、大麻地区が住みやすい地域と認識されていることが分かった。

分類	内容
環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然環境が良く、見晴らしが良いと感じる。</li><li>・住環境の良さを PR する堅苦しくないパンフレットを作成してはどうか。</li><li>・面する道路により街路樹が異なるなど、面白い PR ポイントもある。</li></ul>
人口構成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ここ 1、2 年の間で空き家を壊すと、すぐ次の買い手が見つかっている印象がある。今後の空き家へ対応が必要と考える。</li><li>・道警官舎跡地の宅造により 60 戸程度の若い世帯が転入となり、大麻西小学校の生徒数も増加した。</li><li>・子ども世代が江別市に戻ってきている。</li><li>・文京台地区は子供（小学生）が増えている</li></ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・冬期間の除排雪が大変なので、マンションに転居する人も多いと思う。</li><li>・東大麻はもともと民間主導で造成されたところであり、素掘り側溝が多く、インフラの整備が求められる。</li><li>・札幌市が近く、利便性が良い。</li><li>・遊歩道や公園の整備をしてほしい。</li></ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"><li>・目立った産業がなく、働き口がないため、空いている土地に企業を誘致してはどうか。</li><li>・産官学の連携による新しい産業を創設してほしい。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・大麻地区は素晴らしいところが多くあるので、PR にもっと力を入れてはどうか。</li></ul>

## ②日常生活で抱える課題

日常生活を送る上での課題の範囲は多くはなく、主に交通に関することで意見が出された。江別市の地理的特徴でもあるが、横長であるため地域間の連続性を感じづらいことや、病院へ通う場合に不便を感じるようである。また、高齢者は買い物に行くのも大変であるという意見が聞かれた。

まちづくりに関しての意見の比重が大きくなったのは、江別市全体が活性化することが、日常生活の質的向上にもつながると考えているためと感じられた。自然環境の豊かさや、JRによるまちの分断、商店街の活性化という意見は、大麻地区の特徴と考えられる。

分類	内容
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを利用する際は、国道 12 号か 2 番通まで歩くことになる。そうになると距離もあり、行く場所も限られてしまう。</li> <li>・JR の線路がまちを分断している。</li> <li>・国道 12 号から団地に入る道路が一か所しかない。野幌側の国道 12 号につながる道もあるが、交差点が危ない。</li> <li>・函館本線の線路が大麻、文京台地域を完全に分断している状態で、生活に支障をきたす。渡れる場所を増やすなど、考えてほしい。</li> <li>・その一方で、道路を通すことで大麻地区の静かさが失われるなど難しい問題だと思う。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園が長年荒れた状態となっている。担当者には一度現場を見てほしい。</li> <li>・街路樹が多いことは喜ばしい反面、光が通らない。</li> <li>・大麻地区は緑が自慢だが、歴史が古い分、台風等による倒木が多く、古木が多いので整備が必要だと感じる。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文京台地区から市立病院まではバスを乗り換える必要があるので、時間も手間もかかる。直通バスがあれば、札幌市に通院する市民も減るのではないかと。</li> <li>・赤字で大変だったことは承知しているが、かつての循環バスは良かった。</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち全体の活気、活力がないと感じる。</li> <li>・市外から多くの人を呼べるようなイベントや施設があれば、まちに活気生まれるのではないかと。</li> <li>・東大麻地区では過去に札幌市の「百合が原公園」のような年中花をを楽しめる公園をつくる構想が出たこともある。</li> <li>・商店街が寂しいので、活性化する必要がある。空き店舗を安く貸し出したり、大型店舗との連携を検討してほしい。</li> <li>・商店街が明るく、店が営業していれば、ふらっと商店街を散歩する人が増えると思う。</li> <li>・ジョイフルエーケーはまちの活性化につながっていると実感するが、</li> </ul>

	<p>次の策も必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文京台地区には商店街がなく、買い物は札幌市であることが多い。消費税を札幌市に納めていることはもったいないのではないか。</li> <li>・札幌市へのアクセスの良さがかえって市内消費につながっていない。</li> </ul>
--	--

### ③さらに住みよいまちにするためには？

市内には小児科や産婦人科が少ないという意見があり、若い世代に選ばれるまちとするためには子育てのしやすいまちづくりを行い、若い世代の転入や自治会参加を促してはどうかという意見も聞かれた。

行政だけで出来ることには限界があるので、協働しながら良いまちにしようという意志も感じられた。そのためにも地域活動団体の存在を周知していくことが重要であり、自治会としても協力していきたいとのことであった。自分自身の生活の向上のためにも、根本的な課題の解決を望み、それと同時に自分達もできることはやろうという積極さが伺えた。

分類	内容
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代を呼び込むには小児科や産婦人科が少ないのではないか。</li> <li>・住民が安心して住むためには、生活に根差した病院が必要である。</li> <li>・地域包括支援センターの活用のほか、補助金を利用した検診の励行を進めているが、制度を知らない自治会も多いと思う。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化により自動車を手放していくなか、小回りの利く交通機関の確保が必要である。</li> </ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した自治会運営をしたいが、単位自治会の会長の任期が短く運営が難しい。女性や若い世代の積極的な自治会活動への参加が望ましい。</li> </ul>
協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にどのような協働の団体があるかが分からない。協働のまちづくりを目指すのであれば、さらに周知する必要があるのではないか。</li> <li>・そのPRの方法を含めて、自治会を上手く活用してはどうか。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型店舗の誘致に力を入れ、交流人口の増加を目指してはどうか。</li> <li>・江別西 IC の活性化を図り、付近に工業団地を造成してはどうか。</li> <li>・大麻駅前が夜になると、人が少なく寂しい状態であるため、極論ではあるが、鉄道林を伐採して飲食店街にすれば活気が出るのではないか。</li> </ul>

